



名古屋大学教育学部附属中・高等学校 WWL 構造図

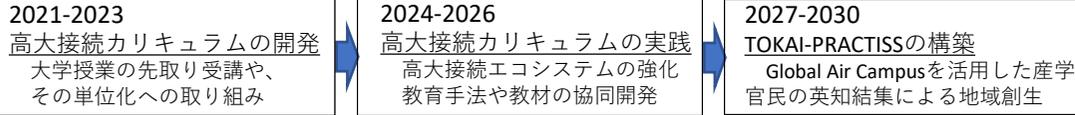
Society 5.0をリードするコンソーシアムTOKAIの構築 ～STEAM for SDGs We are the World～



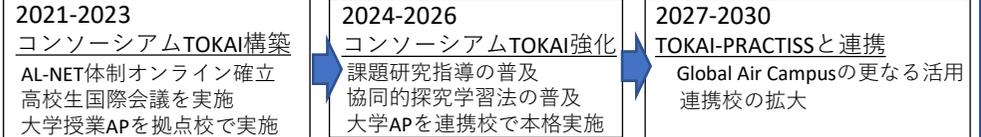
目標：学際的素養を備え「勇気をもって未来をつくる」イノベティブなグローバル人材の育成

育てたい4つの力：①科学的に思考・吟味し活用する力 ②探究し続ける力 ③多様な価値観を持つ他者と協同する力 ④新たな価値を生み出す力
 ベースアイデア：個別最適化カリキュラム ICTを効果的に活用したDual Learningの実践 No Child Left Behind(NCLB)

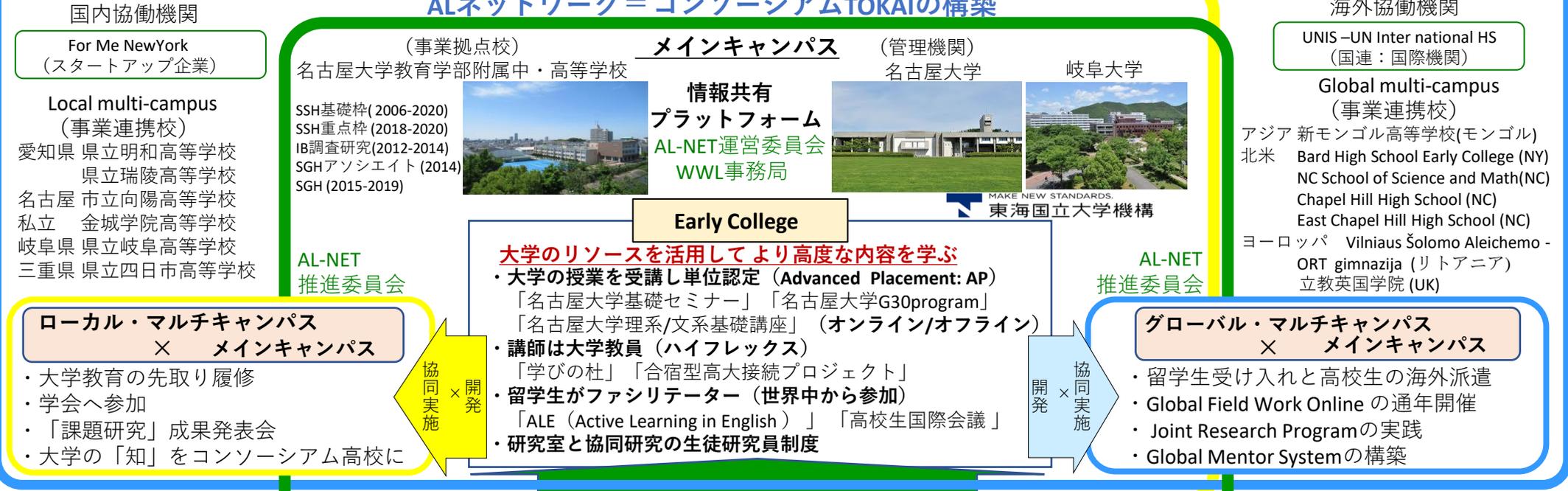
管理機関の中長期ビジョン



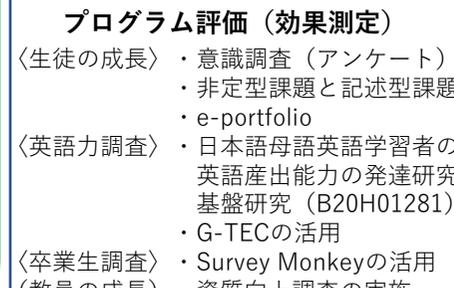
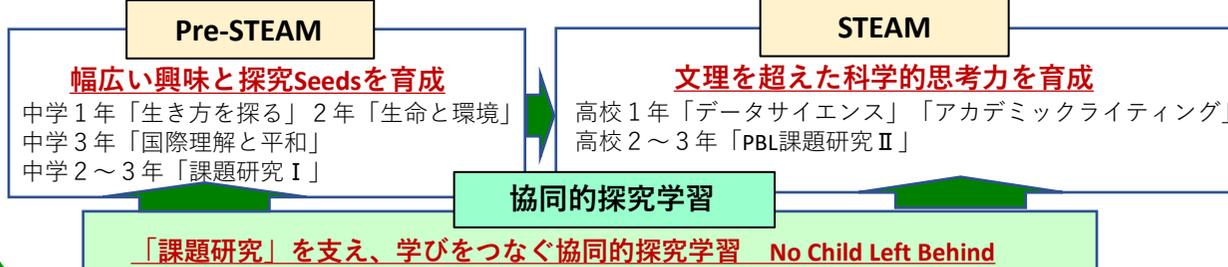
ALネットワーク=コンソーシアムTOKAIの中長期ビジョン



ALネットワーク=コンソーシアムTOKAIの構築



新たな価値を生み出すイノベティブなコアカリキュラムの開発 STEAM for SDGs

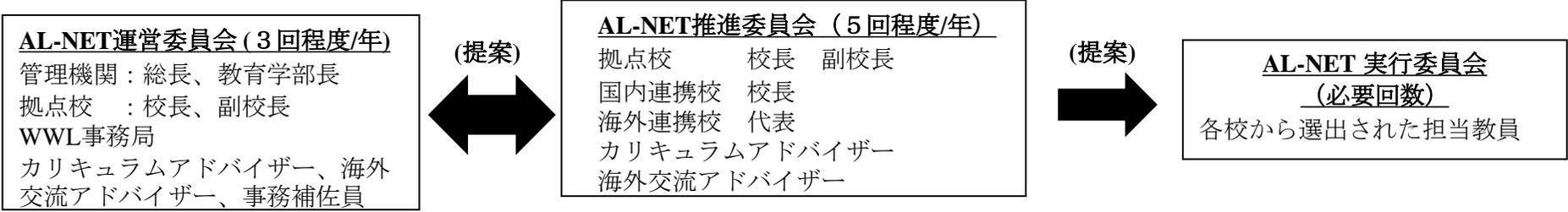


これからの取組内容

重点目標：WWL国内連携との協同実践体制の構築

ねらい：グループダイナミックスを活用して単独校ではできないシナジー効果を産み出すこと

【管理機関（名古屋大学）ALネットワーク(AL-NET)プラットフォーム】



R3年度～の取組（イベント分野）

- 「学びの杜」主催）名古屋大学教育発達研究科附属高大接続研究センター
実施日）夏期休暇中
内容）名古屋大学を中心とした大学教員による連続講義
インセンティブ）10講座以上受講した生徒には修了証
- 「教養教育院高大接続ゼミ」主催）名古屋大学教養教育院
実施日）夏期休暇中
内容）名古屋大学を中心とした大学教員による参加型プロジェクト
インセンティブ）受講した生徒には名古屋大学教養教育院による修了証
- 「ALE (Active Learning in English)」主催）名古屋大学教育学部
実施日）10月～11月の土日
内容）名古屋大学留学生による地球的課題に関するディスカッション
インセンティブ）受講した生徒には名古屋大学教育学部による修了証

2021年度
学びの杜・学術コース

—学問の世界を知り、創造的な学びの力をきたえる—
「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とする研究者たちが、各学問領域における物の見方・考え方やこれまでの研究成果をわかりやすく解説する、本格的な学術講座です。大学レベルの高度な「学び」を体験することで、知の探究のたのしさを厳しさにふれるとともに、自分自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつなげてください。みなさんの参加をお待ちしています。



- 「高校生国際会議」 主催) 名古屋大学教育学部附属高等学校 United Nation International High School (UNIS)
実施日) 10月～2月 ※プロジェクト型
内容) 米国、モンゴル、日本の高校生による国際会議



- 「高校生国際会議」 主催) 名古屋大学国際開発研究科
実施日) 12月 ※ディスカッション型
内容) アジア、ヨーロッパ、米国の高校生による国際会議
インセンティブ) 受講した生徒には名古屋大学国際開発研究科による修了証

R3年度～の取組 (アカデミック分野)

- 「アドバンスプレイスメント (AP)の実施」

R3 附属学校のみで実施

- ・基礎セミナー
- ・Studium Generale

R4/5 附属学校と連携校で実施

- ・基礎セミナー
- ・教養教育院高大接続ゼミ
- ・Studium Generale

R6 附属学校と連携校で実施

- ・基礎セミナー
- ・Studium Generale
- ・文系/理系 基礎科目

- 「課題研究合同発表会」 主催) 名古屋大学教養教育院
実施日) 2月頃
内容) 国内連携校生徒による課題研究発表会
インセンティブ) Nagoya University Award



大学生による基礎セミナー発表会を創設し高校生課題研究と合同開催へ

- 「日本生化学会 ジュニア部門」 主催) 名古屋大学医学研究科
実施日) R4年11月9日～11日
内容) 日本生化学会で初めてのジュニア部門を創設。高校生の研究発表を実施
インセンティブ) 研究者からの助言指導、Nagoya University Award

これからの取組内容の課題

- 海外連携校と国内連携校のクロス事業
- プログラム評価
- 新カリキュラムへの落とし込み